実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
南島原市	原山地域（原山集落）	平成28年2月	令和2年3月

1　対象地区の現状

①地区内の耕地面積	20	ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	13.3	ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	1.3	ha
i　うち後継者未定または不明の農業者の耕作面積の合計	1.3	ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	7.3	ha
（備考）		

2　対象地区の課題

アンケート結果によると、北有馬町の縮小・離農したい耕作面積が24．3haに対し、拡大したい中心経営体の意向面積が10．3haと少なく、新たな農地の受け手の確保が必要である。
原山地区は、基盤整備完了地域であり、多くの担い手が農地の有効活用を行っている。しかし、将来的には地域内の担い手の減少が予想される。

3　対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

本地域は、基盤整備地域であり、農地の有効活用が進んでいる。また、農地中間管理事業を活用した集約化に取り組んでいる。しかし、将来的には担い手の高齢化を迎えるため、さらに農地中間管理事業を活用しての農地の流動化を推進していく。

4　3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

地域内の集約化未実施の農地について、農地中間管理事業を活用して農地の流動化を推進し、出し手から受け手へスムーズな農地の貸し借りができるよう、出し手・受け手の掘り起こしを地域内で行う。